

## 私の留学体験記

広島県立加計高等学校 1年 大倉 芽依 (おおくら めい)

留学期間 平成30年8月13日～平成30年8月28日 (16日間)

留学先 ホノカア高校 (ホノカア, アメリカ合衆国・ハワイ州)

私は、今回のハワイ短期留学でいろいろな経験をし、たくさんのことを学び、持ち帰りました。

大きく分けると二つあります。一つ目は、コミュニケーションの大切さです。私の性格は、どちらかというと消極的で、自分から相手に話しかけるタイプではありません。しかし、ハワイという初めて経験するその場所でいつもとは違う環境、言語、文化、習慣で生活するために、自然とそこにコミュニケーションが生まれてきました。数日間そのような状況で生活してみると、少しずつ会話が増えていき、たくさんの人たちと話すようになり、友達もたくさんできました。そこで私は、コミュニケーションの大切さを学びました。

二つ目は、多様性についてです。今日の世界は多様性に富んでいます。例えば、アイデアの多様性、価値の多様性、思想の多様性などです。今、日本は少子高齢化が進む一方で、外国人の人数は年々増加しています。そのような日本でこれから生きていくためには、多様性が必要だと思います。自分だけの価値観で物事を判断せず、広い視野でたくさんの意見を知り、取り入れることが多様性だと思います。そこで私は、たくさんの経験をするこことで、対応力が身に付き、そこから多様性が生まれると思いました。今回は、ハワイという自分の知らない土地でホストファミリーと生活し、地元の高校に行き授業を受け、一緒に食事もしました。例えば、授業で地元の生徒と一緒にイベントの企画をし、「私はこのイベントをしたい」と提案して相手が「なるほど！でももっと華やかにしたいな」と意見を出し合うことや、カフェテリアで学年を問わず一緒にご飯を食べて食文化の違いについて話すことなどができました。そこで感じたライフスタイルや教育などの文化の違いや、習慣の違いは、普段経験できない貴重なものとなりました。この経験により私はたくさんを知り、異文化を理解することの大切さを学びました。

今回のハワイ短期留学を経験したことで、自分の可能性を知ることができました。非日常で、実際に体験できないということはとてもいいことだし、私は自分に自信をもつことができました。これからは、この留学をきっかけにいろいろなことに挑戦していきたいと思っています。

